

# 病害虫防除技術情報第 5 号

平成 26 年 6 月 17 日

三重県病害虫防除所

## 斑点米カメムシ類の増加を防ぐため、圃場周辺の除草に努めましょう

1. 対象作物: イネ

2. 対象病害虫名: 斑点米カメムシ類(ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類、アカスジカメ、ミナミアオカメムシ)

3. 発生状況: やや多い

(1) 巡回調査(6 月第 2 週)における、畦畔イネ科雑草の 20 回振すくい取り調査では、斑点米カメムシ類成幼虫の発生地点率 68.4%(平成 50.5%)、すくい取り虫数 4.3 頭(平成 2.8 頭)と、平年に比べてやや多い状況です(表)。

(2) 特に、今年はミナミアオカメムシの成幼虫が散見されています(表)。また、コムギ巡回調査圃場(5 月第 5 週)では、昨年ダイズで多発した地域を中心に、広い範囲で成虫の発生が確認されており、注意が必要です。

表 圃場周辺のイネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(2014年6月<sup>a</sup>)

調査年	調査地点数	斑点米カメムシ類 合計		主な虫種							
				ホソハリカメムシ成幼虫		シラホシカメムシ類成幼虫		アカスジカメ成虫		ミナミアオカメムシ成幼虫	
		発生地点率(%)	虫数(頭)	発生地点率(%)	虫数(頭)	発生地点率(%)	虫数(頭)	発生地点率(%)	虫数(頭)	発生地点率(%)	虫数(頭)
2014年	158	68.4	4.3	5.1	0.1	9.5	0.2	55.1	3.4	2.5	0.03
平年値 <sup>b</sup>	—	50.5	2.8	10.6	0.2	5.4	0.1	41.3	2.4	0.3	0.003

<sup>a</sup> 畦畔、のり面、休耕地のイネ科雑草における、20回振すくい取りによる調査。<sup>b</sup> 5年平均(2009~2013年)

4. 防除上の注意事項

(1) 出穂期まではイネ科雑草の穂を餌として増殖します。周辺雑草の除草を徹底してください。

(2) 水田内の雑草も増殖源となりますので、早めに除草してください。

(3) 除草作業は出穂 10 日前までに実施してください。出穂直前の除草は、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、被害が助長されるので避けてください。

(4) 地域一斉に除草作業を行うと、斑点米カメムシ類の避難場所がなくなるので効果が高いです。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。